

令和8年熊本地震に係る被災地支援の状況について（第1報）

本日（7月30日 16時現在）の主な動き

1. 徳島県の体制

- 7月28日 情報収集体制（16時27分設置）
- 30日 「令和8年熊本地震支援本部」設置（16時設置）

2. 人的支援

（1）現地リエゾン

- 7月29日 県職員3名派遣（第1陣）

（2）DMAT コーディネーションチーム

- 7月29日 県2名（看護師2名）派遣
- 30日 ホウエツ病院1名（業務調整員）派遣

（3）DMAT（災害派遣医療チーム）

- 7月30日 県19名（医師4名、看護師8名、業務調整員7名）
徳島大学病院7名（医師3名、看護師2名、業務調整員2名）
ホウエツ病院4名（医師1名、看護師2名、業務調整員1名）
徳島赤十字病院5名（医師1名、看護師2名、業務調整員2名）
吉野川医療センター5名（医師1名、看護師2名、業務調整員2名）派遣

3. 物的支援

（1）支援物資

- 7月29日 県がマスク、弾性ストッキング提供（トイレカーに帯同）

（2）トイレ支援

- 7月29日 県が大型トイレカー1台派遣

（3）給水支援

- 7月30日 徳島市が熊本市に給水車1台、サポートカー1台及び職員4名派遣

4. その他支援

（1）義援金

- 7月30日 県庁をはじめ、県内5か所に募金箱を設置